DX推進総務WG

【総務WG】RPA等の導入による効率化について



《目標》

業務の作業工程を見える化・最適化しつつ、ルーティン業務を自動化するRPAを導入することで、新たな人的リソースを創出し、より付加価値の高い業務へシフトする。

[取組内容]

これまで職員が自ら作業していた業務について、RPA等の導入によって業務の効率化を図る。

- ▶ 昨年度までに試行中の事案は、実用化に向けた検証を行う。
- ⇒ 新規に検討する事案は、自動化の可否を含めた検討を行う。

Before

これまで:手作業で行っていたこと

(例)

・職員が、帳票から手作業でシステムにデータ 入力

(イメージ)

〔職員〕

After

<u>これから:検証・検討を経て自動化を目指す</u> (例)

・ RPAにより作成したロボットが、帳票のデータ (紙資料はAI-OCRの活用で電子化を検討)から 自動で既存システムにデータ入力

(イメージ)

〔ソフトウェアロボット〕

令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 試行済み事案の検証 可能なものは実用化(個々の業務について、自動化の検討・検証を重ねるPDCAサイクルにより実用化を目指す) 試行済み事案を検証 試行済み事案を検証 試行済み事案を検証 試行済み事案を検証 新規事案の検討 新規事案の検討・試行 新規事案の検討・試行 新規事案の検討・試行 新規事案の検討